

## 感激する図書、「生命樹」

奥田 實 著 新樹社、2010

31×23 cm、392頁、9,975円(税込み)

ISBN : 978-4-7875-8607-0

奥田實さんの著書『生命樹』は、開いて見るたび新たな感激を伴う。その内容を端的に言うと、北海道の樹木150種について、種ごとに枝、葉とその紅葉、花とその細部、果実など、あらゆる素材、あらゆるパーツを網羅して撮影された写真集である。しかし、その精度の高さと写真の美しさに感激するだけでなく、その名人技に至るには、想像を超えるほど長い時間をかけて撮影を続けた、著者の心意気と丹念な姿勢が感じられるのである。

植物の分類を学び始めた頃、昔風の細密画を参考に、スケッチを続けることによって細部までじっくり観察する方法を学んだ。逆に、立体的で奥行きのある植物を写真に撮影するには焦点距離の調整だけでは上手く撮影できず、どこにピントを合わせるか難しさの方を感じさせられてきた。そうした写真素人の経験から、本書のように、植物のあらゆるパーツを極めて正確にかつ綺麗に撮影した、丹念さには驚く他はない。しかも、植物

のパーツは成長時期などによってすべてが綺麗な訳ではないので、良き素材の選抜のために、そして開花・開葉・結実・紅葉など植物季節を網羅するために、著者が相当に長い間、森をじっくり歩き回ってきた姿が想像される。さらに、樹木の花や果実には、手が届かない梢の先の方に着くものが少なくないので、多くの人は見逃してしまいがちである。以上の素材収集に払われた努力、あるいは楽しみ方はいかなるものであったか、ご本人に、種々詳しくお聞きしたいと思ってしまう。

奥田實さんは、全国を歩き回って『日本の桜』(写真：奥田實・木原浩、解説：川崎哲也、山と溪谷社、1993年)という大作をまとめられた後、本書出版のために北海道中を歩き10年以上の長い時間を費やされた。本書は、内容の素晴らしいとともに、著者の心意気を感じられる図書である。多くの人に読んで感激していただきたいものである。

(佐藤 謙)